

中学校

陰の人

私が毎日登下校の時に使う道には、雨が降った次の日に通ると、小さな木がたくさん落ちています。どこかしている時間もなく「帰りにどこかそ。」と
思っおもて通りとおすぎます。そして下校のとききにその道みちを通とおると、朝あさにはあつたはずちいの小さな木きがどかさきれています。その出来事できごとは一回いっかいだけでなく、毎まい回かいあります。誰だれがややつてくだささっているかはわわかりませんが、とてもありがたたいです。私もその人ひとのよう
に陰かげで行動こうどうできる人ひとになりたいです。



中学校

夢をくれた叔母へ

私は、昔むかしからマイナスなことを言いつてばかりで、将来しょうらいの夢ゆめも決きまっていま
せんでした。そのとき、私の叔母おばが「看護かん師し良いいよ。」と話はなしてくれました。看かん護ご師しで良よかったことことや困こん難なんだつたこ
となど話はなしてくれました。そう話はなす叔母おが輝かがやいて見みえました。その時とき、自分じぶん
もこの道みちに進すすみたいなど、希望きぼうが生まうれました。全すべてをあきらめたいという
自分じぶんから、将来しょうらいの夢ゆめが決きまり、前まえを向む
いている自分じぶんに変わかりました。これか
ら、たくさんべんきようの勉べん強きやうをして、前まえを向む
て自分じぶんの道みちを歩あゆ
んでいこうと思おもいました。

